

社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業)

計画の名称：周南市における安心安全を実感できる水環境の実現

事業主体名：周南市
チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画の目標が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
③関連する各種事業制度の計画等と整合性が確保されている。	—
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
③指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
⑤十分な事業効果が確認されている。	○
⑥効果促進事業は目標達成に資する内容である。	—
III. 計画の実現可能性	
①全体事業費・要素事業の額が適切である。	○
②関連する機関との調整が図られている。	○
③交付期間中の計画管理(モニタリング・中間評価)を実施する予定である。	—

社会資本総合整備計画 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標1】	汚水管渠整備面積を3,051ha(R2)から3,063ha(R6)に増加させる。
-------	--

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	令和2年3月時点
②実施主体	周南市
③計測手法	令和1年度末時点での汚水管渠整備済み面積を算出。(3,051ha)

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	令和7年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	当初現況値と同様。
⑪評価値の求め方	令和6年度までの事業実施面積を予測。 (3,051ha + 12ha = 3,063ha)

※必要に応じて資料を添付してください